



# 見上げてみよう

## 夏の夜空

**気軽にスターウォッチングを**  
さらに夜はふけて、星座は夏の夜空を大きく駆け巡ります。猪名川町の天体同好会「ブレアデス」の皆さんに気軽にできるスターウォッチングに

ときわ強く美しいその輝きから、西洋では「夏の女王」と呼ばれています。夜10時頃になると、ベガはほぼ真上に上ります。ベガの南西で光を放っているのが、彦星であるわし座の1等星アルタイル。この2つの星に白鳥座の1等星デネブが加わって夏の夜空の象徴、「夏の三角形」を形づくります。(上記星座図参照)また、南の空には、たくさんの明るい星が大きなS字のカーブを描いてまたたいています。曲線が美しいさそり座です。さそりの心臓部あたりで赤く輝いているのが1等星アンタレス。「アンタレス」とは「火星の敵」を意味し、まるで火星とその赤さを競っているかのようです。

町内で星が一番良く見える場所は大野山頂ですが、街灯がないところや、民家の灯りが暗い場所ならかなりの星が見えるとのこと。もちろん安全には十分注意しましょう。スターウォッチングと言うと、何か専門的で難しいように思いがちですが、これなら誰にでも気軽にできそうです。



鎌屋 郁子 松永 ひさみ

**夜空に輝く宝物**  
8月の初め、まだ暗くなりきっていない宵のころ、東の空にはいち早く星が輝き始めます。この星は、七夕伝説のヒロイン織姫星で知られる、こと座の0等星ベガです。ひ

### 夜空に輝く宝物

海や山でキャンプをした時、星空の美しさに感動した思い出を持つ人は多いのではないのでしょうか。しかし、遠くまで出かけなくても、猪名川町で美しい星空を見ることが出来ます。真夏の太陽が沈んだ後、ちよつと外に出て、涼みながら夜空を見上げてみませんか。見飽きることもない神秘的な世界が広がっています。今回は星について、その楽しみ方やこの夏の見どころをご紹介します。

### 猪名川天文台運営委員会 会長 溝上好弘さんの話



今まで色々な星を見てきましたが、初めて土星を見たときの感動は今でもはつきり覚えています。私にとって美しい星空は日常のストレスを忘れさせてくれる大切なものです。猪名川町の星空は都会の人がうらやむほど、まだまだきれいです。しかし、この星空も近年「光害」が進行しています。「光害」とは、過剰な人工の光が星の輝きを奪ってしまうことです。人間は人工の灯りなしでは、もはや生活できませんが、猪名川町の美しい星空を守るために、今後町内の灯りはどうあるべきかを考えていく必要があるでしょう。私達は、今ある星空を守っていかなければならないと思います。

### 猪名川の星空を守りたい

ついて伺いました。

スターウォッチングの基本は、まず自分の目で星を見ることです。星を見てきれいだと思えば、そこからどんどん興味は広がっていきます。そして、より詳しく見たいと思ったら磁石、ライト、星座早見盤を用意して、双眼鏡で星を見ましょう。もちろん望遠鏡の方がよく見えますが、初心者には倍率が低く広い範囲で星が見える双眼鏡がお勧めです。

### 8月の天体ショー

すね。

#### ペルセウス座流星群

特定の時期にまとまった流星が見られるのが流星群といわれるものです。ペルセウス座流星群は、毎年7月下旬頃から飛び始め、8月12日から13日がピークになります。この流星群は流れる速度が速く、夜空に飛んだあとが残るものもあります。1時間に50個位見えるそうですが、今年

#### 火星大接近

は残念ながら満月で夜空が明るいため、それほど多くは期待できないようです。

2003年最大の天体ショーは、8月27日の火星大接近です。地球のすぐ外側を回る火星は2年2カ月ごとに地球に近づきます。接近距離は火星が歪んだ楕円軌道のため毎回異なります。今回は、55

76万kmにまで近づき、これは21世紀中一番の大接近とされています。8月下旬宵の東の空から、別名「赤い星」と呼ばれる火星が、その名の通りひととき赤く輝いて上がってきます。その姿は都会

の空でもはつきりと肉眼で見ることが出来ます。8月27日は、火星観測のため猪名川天文台を午後1時30分から同10時までの間、臨時開館します。運営委員さんの説明を聞きながらゆっくり火星を眺めてみませんか。

## - 宇宙への入り口 - 猪名川天文台・アストロピア

昨年4月にオープンした猪名川天文台は、町内で一番近い宇宙への入り口です。

天文台1階にはプラネタリウム室があり、じゅうたんの上に座り天体学習ができます。2階には、肉眼の5000倍もの集光力を持つ口径50



田中館長(右)の楽しい説明を聞きながら、望遠鏡を覗きます

反射望遠鏡があります。昼でも3等級以上の星を見ることができ、太陽の紅炎や黒点も観察可能です。夜は満天の星空のもと、15等級の星まで楽しむ、望遠鏡をのぞいた人は皆さん様に「わあ、すごい!」と歓声を上げるそうです。来館者は、「ここに来ると、宇宙が少し近くなつたように感じますよ」と笑顔で話されました。

取材中は梅雨の時期でしたが、ある夜ふと空を見上げると、意外にも星がたくさん輝いていました。星を眺めていると、心が穏やかになるような気がします。また、東の空に赤く輝く火星がはつきりと分り、とても感動しました。8月27日の火星大接近では、どれだけ大きく明るく見えるのか、とても楽しみです。星の楽しみ方はそれぞれ、難しいルールはありません。この夏、自分に合った星の楽しみ方を探してみてください。

【いながわ特派員】



## 一緒に星を楽しもう

町内では、8月に星を観察する催しを2つ予定しています。猪名川天文台運営委員の皆さんの解説を聞きながら、みんなで星を楽しみましょう。

### 星を観る会

とき 8月2日(土) 午後6時30分~同9時  
ところ 猪名川高校  
問い合わせ 生涯学習課 (767-2600)

### '03猪名川星まつり

とき 8月3日(日)午後6時30分~同9時30分  
ところ 猪名川天文台  
問い合わせ 農林商工課 (766-8709)



昨年の星まつりで、星を観察する参加者(大野山頂)